

衆議院安全保障委員会ニュース

【第 203 回国会】令和 2 年 11 月 13 日（金）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件

- ・茂木外務大臣、岸防衛大臣、神谷環境大臣政務官、近藤内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）大野敬太郎君（自民）、遠山清彦君（公明）、重徳和彦君（立民）、本多平直君（立民）、篠原豪君（立民）、屋良朝博君（立民）、赤嶺政賢君（共産）、杉本和巳君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

大野敬太郎君（自民）

- （1） バイデン次期米政権への対応
 - ア 日米同盟の深化に向けた我が国の取組についての岸防衛大臣の見解
 - イ 国際秩序の安定に貢献するための我が国としての戦略及び手段についての岸防衛大臣の見解
- （2） 宇宙領域における能力の強化に向けた防衛省・自衛隊の取組

遠山清彦君（公明）

- （1） バイデン次期米政権に対する基本姿勢についての岸防衛大臣及び茂木外務大臣の見解
- （2） 相手方の指揮統制及び情報通信を妨げる能力、装備品の情報システムへのサイバー攻撃を防ぐ能力及び電磁パルス弾等の導入の研究といった分野の能力を高め、それらの防御的運用を確立することが我が国独自の抑止力の向上につながるとの意見に対する岸防衛大臣の見解
- （3） 自律型致死兵器システム（L A W S）の開発に対する政府の基本的立場

重徳和彦君（立民）

- （1） 米大統領選でトランプ現大統領が再選される可能性についての茂木外務大臣の認識
- （2） イージス・アショアの代替案
 - ア ブースター落下の問題によりイージス・アショアの配備計画を停止した河野前防衛大臣の判断の妥当性についての岸防衛大臣の見解
 - イ イージス・アショアが配備可能な陸上の代替地を再調査する必要性についての岸防衛大臣の認識
 - ウ 陸上の代替地の再調査を実施したが見つからなかったという理解の正否
 - エ イージス・アショアの代替案としてイージス艦 2 隻新造の方針が報じられていることに対する岸防衛大臣の見解
 - オ 代替案として洋上プラットフォーム案を採用した場合の海上自衛隊の負担軽減や南西諸島防衛への影響についての岸防衛大臣の認識
 - カ 元々計画していたイージス・アショアが北朝鮮のミサイルへの対処において現在でも十分なものと言えるかどうかについての岸防衛大臣の認識
- （3） 敵基地攻撃能力保有の検討
 - ア 安倍前内閣総理大臣の談話（本年 9 月 11 日）における日米同盟の抑止力の評価についての岸防衛大臣の受け止め方
 - イ 2 発目以降のミサイル攻撃を封じるための敵基地攻撃が法理的に許されるかどうかについての岸防衛大臣の認識
- （4） 政府による馬毛島の土地の取得
 - ア 2017 年時点で評価額 45 億円の土地が昨年末の仮契約時点の買収金額で 160 億円にまで引き上げ

- られたとの報道の正否及び金額が引き上げられた理由についての防衛省の見解
- イ 地権者の民間企業が建設した滑走路のコストが買収金額の 160 億円に含まれるかどうかについての防衛省の見解
 - ウ 買収金額の積算根拠を明らかにする必要性についての防衛省の見解
 - エ しかるべき時期に防衛省が積算根拠を明らかにするという認識の正否
 - オ 追加の費用をかけて新たな滑走路を建設する必要性についての防衛省の認識

本多平直君（立民）

- (1) 防衛大学校における新型コロナウイルス感染症への対応
 - ア 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い採られた防衛大学校の対応により自傷行為者及び中途退学者の増加が見られることに対する岸防衛大臣の見解
 - イ 同対応を検証する予定の有無
 - ウ 同対応を批判する内容の申立書が防衛大学校教授から岸防衛大臣に提出された件に関し状況の改善を命じる必要性
- (2) 陸上自衛隊の再就職あっせん問題
 - ア あっせんにより天下りした将官の人数
 - イ 同問題に関する報告書の提供要求に対し黒塗り処理をしていないためできないとした防衛省の対応への岸防衛大臣の見解
 - ウ 予備的調査で明らかとなった、自衛隊員の再就職者について防衛装備品の受注額が大きく防衛省と「密接な関係」にある営利企業体に数多く再就職している事実に対する岸防衛大臣の見解
 - エ 2017 年に発覚した文部科学省の天下り事案を契機に安倍内閣総理大臣（当時）が命じた全省庁調査に対する防衛省の回答内容
 - オ 同調査に「問題なし」と回答した防衛省の対応への岸防衛大臣の見解
- (3) 敵基地攻撃能力の保有及びイージス・アショアの代替案の検討
 - ア 敵基地攻撃能力保有の検討に関して、「今年中」としていた期限に言及しなくなった理由
 - イ イージス・アショアの代替案決定の期限が「今年中」であることの当否
 - ウ 敵基地攻撃能力の保有及びイージス・アショアの代替案の検討結果が併せて公表されることの当否
 - エ 敵基地攻撃能力に関する 1956 年の鳩山内閣総理大臣答弁の解釈に係る関係省庁から内閣法制局への打合せの依頼及び内閣法制局による文書作成の有無
 - オ 同解釈に係る関係省庁からの意見事務の依頼についての情報開示の要求への内閣法制局の対応

篠原豪君（立民）

- (1) 敵基地攻撃能力保有の検討
 - ア 海外派兵は一般に自衛のための必要最小限度を超えるものであり憲法上許されない旨の過去の政府答弁の有効性
 - イ 政府は戦略守勢に徹し懲罰的抑止力の行使は行わない考えであるとの認識の正否
 - ウ 政府が抑止力強化のためにミサイル防衛において懲罰的抑止力の保有を検討している事実の有無
 - エ 相手方による攻撃の着手と認められるミサイル発射の直前直後の極めて短い時間の中でミサイル及びその発射装置を破壊することの現実的な可能性
 - オ 他国領域で武力を行使し破壊によって相手国の反抗心を委縮させることを狙うものである報復的攻撃の合憲性
 - カ 米軍の敵基地攻撃に協力する目的で我が国が敵基地攻撃能力を保有することは集団的自衛権の行使そのものであり憲法に反するとの考えに対する岸防衛大臣の認識

- (2) 中国の一带一路構想と我が国のアジア支援が補完し合えるための方策及び同構想と日米が推進する自由で開かれたインド太平洋構想との衝突を避けるための信頼醸成措置についての茂木外務大臣の認識

屋良朝博君（立民）

- (1) 政府による馬毛島の土地の取得
- ア 売買額が決定しているにもかかわらず土地評価額が公表できない理由
 - イ 売買交渉に当たっての防衛省による土地価格相場についての把握の有無
 - ウ しかるべき時期に不動産鑑定評価額が公表される可能性
 - エ 不動産鑑定評価がなされた時期
 - オ 整地以外に売買額に加算された要素の有無
 - カ 建築物がある土地は更地より評価額が下がるのが一般的との考えに対する防衛省の見解
- (2) 有機フッ素化合物（PFOS及びPFOA）による水質汚染問題
- ア 環境省による令和元年度PFOS及びPFOA全国存在状況把握調査（令和2年6月11日公表）により高濃度のPFOS等が検出された市区町村の地域的特性に対する環境省の見解
 - イ PFOS等が有害物質であるとの環境省の認識の有無
 - ウ 高濃度のPFOS等が検出された地域の住民の健康チェックを政府が行う必要性
 - エ モニタリングにより汚染が確認された際に原因究明の責任を有する主体
 - オ 汚染源となっている団体等に対して行政が対策を求める場合の強制力の有無
 - カ 昨年5月10日の衆議院環境委員会における原田環境大臣（当時）のしっかり対応したいとの答弁を活かすためにも政府が同問題に対して何らかの行動を起こす必要性

赤嶺政賢君（共産）

辺野古新基地建設工事に係る埋立用土砂の採取候補地

- ア 軟弱地盤改良工事実施のため4月に提出された設計変更承認申請書において沖縄戦の激戦地で現在も遺骨収集作業が続けられている本島南部の糸満市及び八重瀬町を土砂採取の候補地とした理由
- イ 本島南部を採取候補地とした防衛省の対応には沖縄の歴史や遺族への配慮が欠如しているとの指摘に対する岸防衛大臣の認識
- ウ 土砂採取の候補地から本島南部を除外しなかった理由及びそうした検討の有無
- エ 本島南部からの土砂採取を取り止めるべきとする同君の要求に対する政府の見解
- オ 設計変更承認申請書提出に当たっての各採取候補地における外来種の生息状況調査実施の有無
- カ 外来生物駆除のための土砂の高熱処理を行う可能性の有無

杉本和巳君（維新）

- (1) 米中両国の経済力及び軍事力が接近し、両国衝突のリスクが指摘される状況における、我が国の立ち位置についての岸防衛大臣及び茂木外務大臣の見解
- (2) 我が国と中国との安全保障協議委員会（2プラス2）設定の可能性についての岸防衛大臣及び茂木外務大臣の見解
- (3) 外国資本による安全保障上重要な土地の取得規制について関係大臣と連携して実現を図る必要性についての岸防衛大臣の見解

2 防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第7号）

- ・岸防衛大臣から趣旨の説明を聴取しました。